

1 問題

2 直線

$$x \tan A + y \tan B + \tan C = 0 \quad (1)$$

$$x \sin 2A + y \sin 2B + \sin 2C = 0 \quad (2)$$

が交わる時、直線 $x + y + 1 = 0$ はその交点を通ることを証明せよ。ただし、 $A + B + C = \pi$ とする。

[1966 東京女子大]

2 解答

2 直線 (1) と (2) の交点を通る直線を、実数 k を用いて次のように表す。

$$x \tan A + y \tan B + \tan C + k(x \sin 2A + y \sin 2B + \sin 2C) = 0 \quad (3)$$

ここで、 $k = \frac{1}{2 \cos A \cos B \cos C}$ とおいて、(3) の左辺の x の係数を計算すると、

$$\begin{aligned} & \tan A + \frac{1}{2 \cos A \cos B \cos C} \cdot \sin 2A \\ &= \tan A + \frac{2 \sin A \cos A}{2 \cos A \cos B \cos C} \\ &= \tan A + \frac{\sin A}{\cos B \cos C} \\ &= \tan A + \frac{\sin(B+C)}{\cos B \cos C} \quad (A+B+C = \pi \text{ より}) \\ &= \tan A + \frac{\sin B \cos C + \cos B \sin C}{\cos B \cos C} \\ &= \tan A + \tan B + \tan C \end{aligned}$$

y の係数と定数項も同様に計算すると、 $\tan A + \tan B + \tan C$ となる。したがって、 $u = \tan A + \tan B + \tan C$ とおくと、直線 (3) は次のように表される。

$$\begin{aligned} ux + uy + u &= 0 \\ x + y + 1 &= 0 \end{aligned}$$

よって、直線 $x + y + 1 = 0$ は 2 直線 (1) と (2) の交点を通る。 ■

3 注意

本当は 0 による除算がないかチェックが必要。